令和７年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第 18 回研修を開催しました！

令和７年 10 月 17 日（金）、18 日（土）に、雫石町南畑のコテージむらにおいて、いわて新農業人チャレンジファーム第 18 回研修を開催しました。

今回は、研修の振り返りの講義と、ブロッコリーとねぎの収穫及びナスとピーマンの片付けなどを実習において実施しました。

講義では、今年度の研修で栽培した 14 品目の実習野菜の栽培記録について、１品目ずつポイントを押さえながら振り返りを行いました。

指導員から「同じ失敗を繰り返すのでは自身の栽培技術向上に繋がらない。今作を反省して、次作での対策を立てるために栽培記録をしっかり見直すこと。」と、栽培を振り返ることの重要性について説明しました。

実習では、初めにブロッコリーを収穫しました。包丁を使って株元から茎を切ったあと、余分な葉を落としていきました。今作では、花蕾が良く詰まっていて緑の濃いブロッコリーが収穫出来ました。次に、ねぎの収穫を行いました。今作では、昨年度から品種を変え、収穫したほとんどのねぎで目標としていた、軟白部 30 ㎝程度まで伸ばすことができ、満足のいく結果となりました。次作ではさらに良いものを栽培したいと感じました。

収穫作業の後には、ナス、ピーマンの栽培畦の片付け作業を実施しました。受講生はコミュニケーションを取りながら、支柱の撤去や株のの抜き取り、畦崩しまでを協力して行いました。

今回の実習も盛りだくさんの内容でしたが、受講生のてきぱきと作業をする動きや農具の使い方に成長が見られ、指導員は受講生の成長ぶりを感心していました。

次回の研修は、10 月 24 日（金）、25 日（土）、雫石町南畑のコテージむらにおいて、作付計画についての講義と、トマトの収穫と片付けとはくさいの収穫、露地ほ場への堆肥散布を実施予定です。

講義「研修の振り返り」の様子

ブロッコリーを収穫する受講生

ねぎを栽培畦から引き抜く受講生

ナス、ピーマンの栽培畦を片付ける受講生